

■ 農村教育と理紀之助研究

児玉 庄太郎

こだま しょうたろう

出身地 潟上市（旧天王町）

1874年（明治7年）～1959年（昭和34年）

大正の初め、全国に先駆けて農村教育を提唱する。教育による、疲弊農村の救済・振興を主張し実践した。石川理紀之助の言行に共感し、彼の理念の紹介と普及に努めた。



年譜

- 1874年 潟上市（旧天王町）に生まれる。
- 1895年 秋田県尋常師範学校卒業。
南秋田郡龍湖尋常小学校訓導。
- 1908年 秋田県師範学校教諭。
- 1915年 南秋田郡旭川尋常小学訓導兼校長。
- 1919年 第1回秋田県農村教育研究会開催。
- 1927年 湯沢高等女学校長。
- 1929年 石川理紀之助に関する著書を編集。
- 1939年 愛国女学館長。教員養成科を設ける。
- 1959年 秋田市で没。84歳。